

週間漁海況情報—第3号

平成23年1月17日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

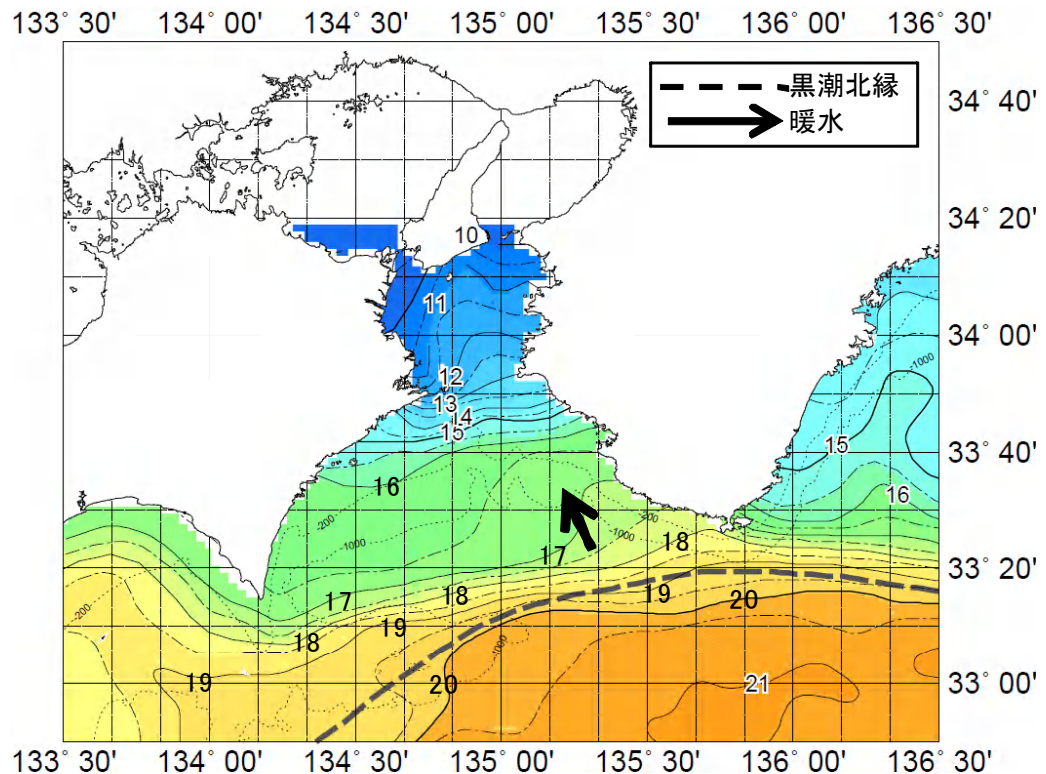
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H23.1.17）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でかなり離岸、足摺岬沖で著しく離岸している。

黒潮の小蛇行が土佐湾沖まで達している。

黒潮本流の表面水温は、19～21℃台である。

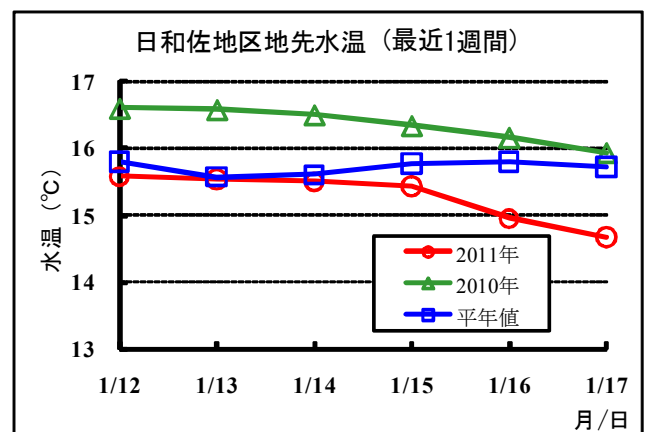
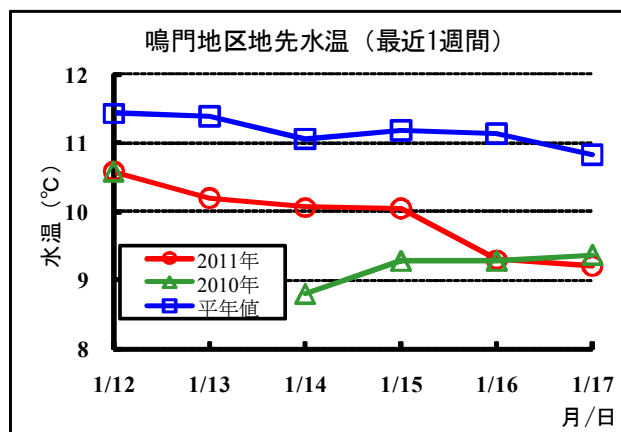


徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9℃台、紀伊水道で9～12℃台、海部沿岸で11～16℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸で緩やかな暖水流入がある。

海部沿岸上灘では15℃台の内海系水に覆われている。

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「低め」の9.2～10.6℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや低め」の14.7～15.6℃、牟岐地区は「かなり低め」～「平年並み」の12.2～15.8℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にアマダイが0.3トン(1日1隻当たり6kg)、カワハギが0.7トン(同52kg)、大主体にサバフグが0.5トン(同16kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが1.5トン(同41kg)、小主体にマアジが0.3トン(同16kg)、小主体にマルアジが0.3トン(同21kg)、メジナが0.5トン(同95kg)水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.3トン(同55kg)、大主体にカワハギが0.3トン(同46kg)、中主体にカンパチが0.5トン(同91kg)、大主体にスルメイカが0.9トン(同150kg)、中主体にヒラソウダが0.4トン(同61kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが1.2トン(同9kg)、タチウオが0.5トン(同58kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 01月10日～01月16日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	48	311	6	大主体
		カワハギ	14	727	52	
		サバフグ	31	509	16	大主体
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	37	1,523	41	
		マアジ	17	267	16	小主体
		マルアジ	15	312	21	小主体
		メジナ	5	473	95	
大型定置網	海部沿岸	アオリイカ	6	329	55	大主体
		カワハギ	6	274	46	大主体
		カンパチ	6	545	91	中主体
		スルメイカ	6	902	150	大主体
		ヒラソウダ	6	364	61	中主体
釣り	海部沿岸	アオリイカ	133	1,208	9	大・中主体
		タチウオ	9	520	58	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや低め」の8～9℃台、日和佐地先は「低め」～「やや低め」の13～15℃台で推移する見込み。

他県情報：宮崎県(1月6～12日)のパッチ網でシラス3.3トン(1日1隻・続あたり0.5トン)、大分県(12月20日～1月9日)の釣りでマアジが4.3トン、ブリが16.6トン、タチウオが4.6トン、定置網でマアジが3.8トン、アオリイカが1.3トン水揚げされた。

お知らせ(重要)：

水産研究所の携帯版ホームページアドレスが変更になりました。

QRコード読み取り機能付きケータイをお持ちの方は、右のQRコードからホームページに移動できます。お気に入りに登録されている方は、変更をお願いします。

水産研究所携帯版ホームページアドレス

<http://mobile.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/>

